

令和 7 年度

教育予算編成の概要

令和 7 年 3 月

当別町教育委員会

令和7年第1回当別町議会定例会の開会にあたり、新年度の教育予算編成の概要について申し上げます。

【はじめに】

当別町の教育は伊達邦直公とその家臣が当別に開墾の鋤を振り下ろして間もなく、家臣団の一人である鮎田如牛が、私塾を開いて移住者の子どもたちの教育を担ったことに始まります。

生活すら困難な開拓当初にあっても「教育のことは1日もゆるがせにできない」として教育を重んじた精神は、現代まで脈々と引き継がれています。

この理念を礎として、新たに策定した「当別町教育基本計画」のもと学校教育と社会教育の具現化に向け、限られた財源を効果的に活用し、実効性ある施策・事業を展開してまいります。

小中一貫教育においては、新年度の教育推進計画の中で「一人ひとりの学力向上と子どもの未来保障」を重点目標として掲げ取組を進めてまいります。

さらに、少子・高齢化の進展、グローバル化や AI 技術の発展など社会の急激な変化に即応できる人材の育成にも力を注ぎ、これからの社会を人間らしく生き抜くための知性と感性を育てる教育をめざすとともに町民がより幸せを感じることのできる生涯学習の充実に努めてまいります。

これより、新年度における具体的な施策についてご説明いたします。

【施策の展開】

1 学習指導

学習指導については、個別最適で協働的な学びの充実を図るため、児童生徒の一人一台端末を更新し、これまで実践してきた「GIGA スクール構想」から ICT 教育環境の効果を最大限に活用する「NEXT GIGA（ネクスト ギガ）」へ移行し、主体的・対話的で深い学びの充実に取り組んでまいります。

また、教育課程を通じた資質・能力の確実な育成と定着に向け、学力向上推進講師や支援員・介助員を複数名配置する、当別型複数指導体制の充実を図り、子どもたちに寄り添った学習支援を行ってまいります。

次に、本町の独自教科である「とうべつ未来学」等を活用し、子どもたちが文化・芸術に触れる機会を増やし、感性を育てる教育の充実にも努めてまいります。

2 生徒指導

生徒指導については、いじめの未然防止、不登校支援等、多様化する児童生徒への指導において、道のスクールソーシャルワーカー派遣事業を活用しながら、学校・家庭・関係機関等をつなぐ「心のコーディネーター」を配置します。また、仮想空間（メタバース）を活用した道の事業と連携することで、子どもたちの多様な学び場や居場所づくりの拡充を図ります。

加えて、校内・外の教育支援センターや、WEBQU 等の活用を進めながら、

不登校等により「学びにアクセスできない児童生徒ゼロ」を目指し、取り組みを推進してまいります。

また、昨今の課題である外国人児童生徒の受け入れにおいても体制を整備し、学校と連携した組織的な対応を進めてまいります。

3 地域と共にある学校

地域と共にある学校については、家庭・地域との連携・協力による体力向上に向けた取り組みを進めることで、スポーツの楽しさや喜びを味わう機会を増やし、生涯にわたって心身の健康の保持増進、豊かなスポーツライフを実現する力を身につけることができるよう、引き続き、取り組みを進めてまいります。

次に中学校における部活動の地域展開に向けては、「『未来を拓く9年間』の地域クラブ活動」として、小学生から一貫した地域クラブ活動の運営体制整備に向け、地域おこし協力隊制度や国の実証事業を活用しながら進めてまいります。

また、コミュニティスクールの機能の更なる充実を図り、学校や地域、関係機関との風通しの良い関係を基に、全ての子どもたちの健やかな成長と学びの充実のため、全力で取り組んでまいります。

学校給食では、社会情勢による物価高騰が米や野菜といった食材にも大きな影響を及ぼしているため、物価高騰対策を行い地元食材の活用促進や姉妹都市

の食材を使った「とべっこランチ」を継続します。

当別の特色ある給食を積極的に発信し、美味しい給食を楽しみにしている子どもたちの健やかな成長を願いながら、食育を通じた楽しみや安心と笑顔をさらに広げていく1年にしたいと思っています。

4 生涯学習の推進

生涯意欲をもって主体的に学べるよう、「ことぶき大学」の開催など生涯学習プログラムを継続して実施します。

読書活動推進の拠点である図書館では、本や図書館に親しむイベントを充実させるとともに、新たにエアコンを整備して利用者環境の改善を図り、町民の読書活動をさらに推進します。

5 文化・芸術・スポーツの推進

文化・芸術活動においては、文化公演事業の開催や文化協会活動支援などを行い、文化・芸術に親しむ機会の創出を図ってまいります。スポーツ活動においては、指定管理施設に西当別コミュニティーセンターの運営管理を加え、すべての町民が身近にスポーツに触れる環境づくりを推進してまいります。

6 歴史伝承と郷土愛の醸成

当別の歴史について理解を深め、郷土のすばらしさを感じ、郷土を愛し誇りに思う気持ちを醸成できるよう、町全体を開かれた教室と捉え、子どもの学び場を創出します。古文書等の解析を進め、当別の歴史を未来に継承する取り組みを進めるとともに、歴史学習講座を開催し、町民の歴史学習の機会創出に努めます。

7 地域の教育力の向上

地域学校協働本部の更なる活用から、「放課後学習会」「土曜教室」「イングリッシュプロジェクト」などにおける地域ボランティアによる活躍の場を広げ、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」といった意識のもとで、町の未来を担う子どもたちの成長を支えます。

8 施設整備等

最後に施設の整備についてです。

すでに暑さ対策済の西地区の学校に続き「とうべつ学園のエアコン設置工事」をはじめ、西地区の学校の課題となっている「西当別小学校及び中学校のトイレの洋式化」や教室の狭さを解消するため現在進めている「西当別中学校の教室改修」に続き「西当別小学校の教室改修」を行うなど学校施設の環境改

善を進めてまいります。

また社会教育施設については、「とうべつ学園プールろ過装置更新工事」を実施してまいります。

【おわりに】

以上、新年度の教育予算編成の概要についてご説明申し上げました。

「『未来を拓く 9 年間』当別町小中一貫教育」の成果を着実に積み上げて参りますので、町民の皆様、議員各位のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。